

第 13 回強磁場フォーラム総会 議題

1. 強磁場フォーラムの第 12 期活動報告と 13 期活動方針 質疑・応答
2. 各施設の近況報告
3. ユーザーからみた強磁場施設に関する意見交換
4. Global High Magnetic Field Forum について
5. Megagauss Conference の柏での開催について
6. 第 13 期役員選挙 (投票)
7. 三浦奨励賞授賞式および受賞講演
8. 第 13 期役員選出

『今期 (第 12 期) の活動報告』

1. 2016 年 6 月 24 日 (於 東京大学物性研究所) の強磁場フォーラム第 12 回総会において次期 (第 12 期) 幹事が決定した。

代表 松田康弘 (東京大学 物性研究所 准教授)

今中康貴 (物質・材料研究機構 グループリーダー)

野尻浩之 (東北大学 金属材料研究所 教授)

左近拓男 (龍谷大学 理工学部 教授)

鳴海康雄 (大阪大学 准教授)

植田浩明 (京都大学 准教授)

黒江晴彦 (上智大学 准教授)

中西良樹 (岩手大学 准教授)

2. 強磁場フォーラムの web page をリニューアルし、情報の整理と更新を行った。
3. 三浦賞の今後について幹事会で議論が行われ、今回の物材機構での第 13 回フォーラム総会に以下の方針を提案するに至った。

【経緯】

三浦先生からのご寄付により、若手の育成を支援する目的で 2005 年に創められ、

資金の規模から 10 年間と想定されて創設された賞であった。

<http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/mgsl/himag-forum/hmfmiura.html>

しかし、前回 2016 年の第 8 回で受賞者が 11 人となり、当初想定の 10 人を超えたために資金を使い切り、副賞の 5 万円を支出できなくなった。

【議論の内容】

賞の存続も含め議論されたが、幹事会では設立当初に想定された第 10 回までは三浦賞を出すことをまず確認した。今回は第 9 回であり、次回が最終の募集となる。第 10 回で三浦賞の募集を終了することについて、本フォーラム総会で審議する。また、その後の若手奨励のための表彰に関しては、名称や副賞の内容を一新して新たな賞を設けることを幹事会としてフォーラム総会に提案し、承認された。

『来期（第 13 期）の活動方針』

- ・三浦奨励賞の後継の若手奨励賞の名称、副賞など詳細の決定
- ・次回の研究会とフォーラム総会の開催
- ・各施設間及びユーザーとの情報・意見交換の促進の方法を検討
- ・柏開催の第 16 回メガ Gauss 会議（MG-XVI）など強磁場関連会議への協力

参考 強磁場フォーラムの歴史

設立総会2002年10月9日 東京大学物性研究所
第2回総会2003年6月17日 東北大学金属材料研究所
第3回総会2004年6月16日 物質・材料研究機構
第4回総会2005年6月14日 東京大学物性研究所
第5回総会2006年6月15日 大阪大学
第6回総会2008年5月16日 東京大学物性研究所
第7回総会2009年12月8日 東北大学金属材料研究所
第8回総会2011年6月24日 物質・材料研究機構
第9回総会2012年11月27日 東北大学金属材料研究所
第10回総会2013年11月1日 東京大学物性研究所
第11回総会2014年12月5日 大阪大学
第12回総会 2016年6月24日 東京大学物性研究所
第13回総会 2017年11月30日 物質・材料研究機構